



平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 長大

コード番号 9624 URL <http://www.chodai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永治 泰司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 藤田 清二

TEL 03-3639-3301

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年9月期第2四半期 | 4,808 | 20.1 | 332 | | 350 | | 189 | |
| 21年9月期第2四半期 | 4,004 | | 676 | | 684 | | 759 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 22年9月期第2四半期 | 20.89 | |
| 21年9月期第2四半期 | 84.09 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 22年9月期第2四半期 | 16,420 | 9,759 | 57.5 | 1,042.65 |
| 21年9月期 | 12,149 | 9,293 | 76.4 | 1,024.50 |

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 9,447百万円 21年9月期 9,282百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 21年9月期 | | 0.00 | | 2.00 | 2.00 |
| 22年9月期 | | 0.00 | | | |
| 22年9月期 (予想) | | | | 4.00 | 4.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 11,000 | 8.4 | 200 | | 220 | | 150 | | 16.56 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 日本自動車道株式会社匿名組合) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は4ページ[定常的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|--------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年9月期第2四半期 | 9,416,000株 | 21年9月期 | 9,416,000株 |
| 期末自己株式数 | 22年9月期第2四半期 | 355,395株 | 21年9月期 | 355,095株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年9月期第2四半期 | 9,060,662株 | 21年9月期第2四半期 | 9,036,091株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間は、公共事業費削減の流れの中で建設コンサルタント業界においては引き続き国や地方自治体からの受注の低迷が続いております。このような状況の中で当社グループでは昨年11月に公表した事業推進戦略において社会の発展方向を見据えた今後の成長軸を示しましたが、これに沿って取り組んでいる新事業の一部が具体化しつつあります。4月には株式会社アルコムを吸収合併して建築事業展開とともにPFI・PPP事業の拡大を目指しております。また、3月には伊吹山ドライブウェイを保有・運営する日本自動車道株式会社を運営者とする匿名組合権益の過半数を取得して当匿名組合は当社の連結子会社となりました。これにより今後の道路運営事業の端緒を切り拓きました。一方海外では、当社と首都高速道路株式会社で構成する共同企業体がタイ国のバンコクを流れるチャオプラヤ川架橋の「橋梁維持管理計画策定調査」を受注しました。これを足がかりに今後の海外における維持管理分野の事業展開を進めてまいります。経費面では既に変動費削減が進んでおりますが1月に追加的な経費削減策を打ち出し既に大きな効果を挙げております。これに加えて人件費対策も継続するなど今後も徹底的なコスト削減に取り組んでまいります。

なお、当社グループの売上高は、受注の大半が官需という特性により、第2四半期以降に偏る傾向があります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の業績といたしましては、受注高は39億47百万円（前年同四半期連結累計期間比23.3%減）売上高は48億8百万円（同20.1%増）となりました。

利益面では、営業利益3億32百万円（前年同四半期連結累計期間6億76百万円円の営業損失）、経常利益3億50百万円（前年同四半期連結累計期間6億84百万円の経常損失）、四半期純利益1億89百万円（前年同四半期連結累計期間7億59百万円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

〔建設コンサルタント事業〕

当社グループの主力事業であります建設コンサルタント事業の当第2四半期連結累計期間の状況は、受注高34億11百万円（前年同四半期連結会計期間比25.8%減）、売上高41億68百万円（同21.6%増）となりました。

〔情報サービス事業〕

当第2四半期連結会計期間の受注高は5億35百万円（前年同四半期連結累計期間1.6%減）、売上高6億40百万円（同11.3%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は164億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億71百万円増加いたしました。流動資産合計は99億64百万円となり、40億20百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び完成業務未収入金の増加17億9百万円、現金及び預金の増加13億27百万円及び未成業務支出金の増加9億65百万円等であり、固定資産合計は64億56百万円となり、2億50百万円増加いたしました。有形固定資産は36億38百万円となり、6億29百万円増加いたしました。主な要因は、新たに連結範囲に含めた匿名組合の有形固定資産の増加6億25百万円であり、投資その他の資産は27億52百万円となり、3億74百万円減少いたしました。主な要因は、長期預金の減少3億円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は66億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億5百万円増加いたしました。流動負債合計は59億95百万円となり、36億93百万円増加いたしました。主な要因は短期借入金の増加30億円等であります。固定負債合計は6億66百万円となり、1億12百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は97億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億65百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益1億89百万円の計上及び少数株主持分が3億1百万円増加等であり、

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.4%から57.5%となり18.9ポイント減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は42億99百万円となりました。

また、当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果使用した資金は16億78百万円となりました。

これは主に未成業務支出金の増減額 9億65百万円及び完成業務未収入金の増減額 17億9百万円等の要因によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果取得した資金は33百万円となりました。

これは主に定期預金の払戻しによる収入3億円及び連結の範囲の変更を伴う匿名組合への出資による支出2億89百万円等によるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果取得した資金は29億71百万円となりました。

これは主に短期借入れによる収入32億円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

第2四半期連結会計期間より、日本自動車道株式会社を営業者とする匿名組合の出資持分を当社が取得することとなりました。当該匿名組合持分の取得により、日本自動車道株式会社に対して当社は議決権を有していないものの、日本自動車道株式会社から分配を受ける当社の経済持分比率が60%となり、過半を超えることとなったため当該匿名組合を連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成業務高及び完成業務原価の計上基準の変更

請負業務に係る収益の計上基準については、従来、完成(引渡)基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期会計期間より適用し、当第1四半期会計期間に着手した契約から、当第2四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる業務については工事進行基準(業務の進捗率の見積りは原価比例法)を適用し、その他の業務については工事完成基準を適用することとしております。

この変更による業績及びセグメント情報への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日) |
|----------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,329 | 3,002 |
| 受取手形及び完成業務未収入金 | 2,825 | 1,116 |
| 有価証券 | 100 | 100 |
| 商品 | 23 | 19 |
| 未成業務支出金 | 2,501 | 1,534 |
| 貯蔵品 | 1 | - |
| 繰延税金資産 | 82 | 81 |
| その他 | 104 | 93 |
| 貸倒引当金 | 3 | 3 |
| 流動資産合計 | 9,964 | 5,944 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,644 | 1,090 |
| 土地 | 1,900 | 1,861 |
| その他(純額) | 93 | 56 |
| 有形固定資産合計 | 3,638 | 3,008 |
| 無形固定資産 | | |
| | 65 | 69 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 764 | 746 |
| 繰延税金資産 | 674 | 669 |
| 保険積立金 | 760 | 765 |
| その他 | 664 | 1,054 |
| 貸倒引当金 | 111 | 108 |
| 投資その他の資産合計 | 2,752 | 3,127 |
| 固定資産合計 | 6,456 | 6,205 |
| 資産合計 | 16,420 | 12,149 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 業務未払金 | 771 | 359 |
| 短期借入金 | 3,000 | - |
| 未払法人税等 | 172 | 38 |
| 未払費用 | 349 | 364 |
| 未成業務受入金 | 1,470 | 1,016 |
| 受注損失引当金 | 4 | 36 |
| その他 | 227 | 486 |
| 流動負債合計 | 5,995 | 2,302 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 508 | 441 |
| 負ののれん | 29 | - |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日) |
|--------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| その他 | 127 | 112 |
| 固定負債合計 | 666 | 553 |
| 負債合計 | 6,661 | 2,856 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,107 | 3,107 |
| 資本剰余金 | 4,871 | 4,871 |
| 利益剰余金 | 1,616 | 1,445 |
| 自己株式 | 87 | 87 |
| 株主資本合計 | 9,507 | 9,336 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 60 | 53 |
| 評価・換算差額等合計 | 60 | 53 |
| 少数株主持分 | 312 | 10 |
| 純資産合計 | 9,759 | 9,293 |
| 負債純資産合計 | 16,420 | 12,149 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日) |
|-----------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 売上高 | 4,004 | 4,808 |
| 売上原価 | 3,025 | 3,168 |
| 売上総利益 | 978 | 1,640 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,654 | 1,307 |
| 営業利益又は営業損失() | 676 | 332 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 9 |
| 受取配当金 | 1 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | 2 | - |
| 和解金 | - | 10 |
| 雑収入 | 13 | 18 |
| 営業外収益合計 | 31 | 40 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11 | 11 |
| 投資事業組合運用損 | 13 | 8 |
| 為替差損 | 12 | - |
| 雑損失 | 2 | 3 |
| 営業外費用合計 | 39 | 23 |
| 経常利益又は経常損失() | 684 | 350 |
| 特別損失 | | |
| 前期損益修正損 | 3 | - |
| 投資有価証券評価損 | 63 | - |
| 割増退職金 | - | 4 |
| 特別損失合計 | 66 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失() | 751 | 345 |
| 法人税等 | 6 | 149 |
| 少数株主利益 | 2 | 7 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 759 | 189 |

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日) |
|-------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 3,535 | 4,103 |
| 売上原価 | 2,562 | 2,632 |
| 売上総利益 | 972 | 1,471 |
| 販売費及び一般管理費 | 772 | 615 |
| 営業利益 | 200 | 855 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 4 |
| 受取配当金 | 0 | 0 |
| 為替差益 | 3 | 4 |
| 雑収入 | 6 | 6 |
| 営業外収益合計 | 17 | 15 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9 | 9 |
| 投資事業組合運用損 | 13 | 8 |
| 雑損失 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 23 | 21 |
| 経常利益 | 194 | 850 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 63 | - |
| 割増退職金 | - | 4 |
| 特別損失合計 | 63 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 131 | 846 |
| 法人税等 | 415 | 160 |
| 少数株主利益 | 3 | 7 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 288 | 679 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日) |
|-------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 751 | 345 |
| 減価償却費 | 54 | 53 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 63 | 66 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 5 | 2 |
| 役員賞与引当金の増減額(は減少) | 2 | - |
| 受注損失引当金の増減額(は減少) | 34 | 32 |
| 受取利息及び受取配当金 | 15 | 11 |
| 支払利息 | 11 | 11 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 2 | - |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 63 | - |
| その他の損益(は益) | 11 | 7 |
| 完成業務未収入金の増減額(は増加) | 1,507 | 1,709 |
| 未成業務支出金の増減額(は増加) | 1,226 | 965 |
| 商品の増減額(は増加) | - | 0 |
| その他の資産の増減額(は増加) | 47 | 3 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 450 | 412 |
| 未成業務受入金の増減額(は減少) | 713 | 453 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 86 | 24 |
| その他の負債の増減額(は減少) | 234 | 319 |
| 小計 | 2,544 | 1,656 |
| 利息及び配当金の受取額 | 15 | 12 |
| 利息の支払額 | 16 | 16 |
| 法人税等の支払額 | 12 | 18 |
| 法人税等の還付額 | 46 | - |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,511 | 1,678 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 26 | 300 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 14 | 26 |
| 投資有価証券の取得による支出 | - | 39 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 172 | - |
| 貸付けによる支出 | - | 26 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 4 |
| 連結の範囲の変更を伴う匿名組合への出資による支出 | - | 289 |
| その他の支出 | 7 | 5 |
| その他の収入 | 7 | 117 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 184 | 33 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 3,200 | 3,200 |
| 短期借入金の返済による支出 | 200 | 200 |
| 配当金の支払額 | 69 | 18 |
| 自己株式の取得による支出 | 153 | 0 |
| 少数株主への配当金の支払額 | 0 | 0 |
| その他の支出 | 0 | 9 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,775 | 2,971 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2 | 1 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 450 | 1,327 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,080 | 2,972 |

| | | |
|------------------|-------|-------|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,530 | 4,299 |
|------------------|-------|-------|

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)

| | 建設コンサル タント事業 (百万円) | 情報サービス 事業 (百万円) | 計(百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|--------------------------|-----------------------|--------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 3,428 | 575 | 4,004 | - | 4,004 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1 | 72 | 74 | (74) | - |
| 計 | 3,430 | 648 | 4,078 | (74) | 4,004 |
| 営業利益(又は営業損失()) | 208 | 155 | 53 | (623) | 676 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、業務の分野・種類により区分しております。

2. 各区分に属する業務の分野・種類

| 事業区分 | | 業務の分野・種類 |
|-----------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建設コンサル タント事業 | 構造分野 | 橋梁・特殊構造物等に関わる調査・計画・設計・施工管理、各種構造解析・実験、CM(コンストラクション・マネジメント)業務、土木構造物・施設に関わるデザイン等 |
| | 社会計画分野 | 道路、総合交通計画、道路整備計画、路線計画、ITS(高度道路交通システム)、環境、都市・地域計画、河川全般に関わる調査、計画、設計、運用管理、パブリックマネジメント、アドバイサリー業務 |
| 情報サービス事業 | | 情報処理に関わるコンサルティング、システム化計画、設計、ソフトウェア開発、情報コンテンツ開発・運営・配信サービス、各種公共施設のデータ管理等情報サービス全般 |

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

| | 建設コンサル タント事業 (百万円) | 情報サービス 事業 (百万円) | 計(百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|--------------------------|-----------------------|--------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 4,168 | 640 | 4,808 | - | 4,808 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 9 | 212 | 221 | (221) | - |
| 計 | 4,177 | 852 | 5,030 | (221) | 4,808 |
| 営業利益(又は営業損失()) | 585 | 193 | 779 | (446) | 332 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、業務の分野・種類により区分しております。

2. 各区分に属する業務の分野・種類

| 事業区分 | | 業務の分野・種類 |
|-----------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建設コンサル タント事業 | 構造分野 | 橋梁・特殊構造物等に関わる調査・計画・設計・施工管理、各種構造解析・実験、CM(コンストラクション・マネジメント)業務、土木構造物・施設に関わるデザイン等 |
| | 社会計画分野 | 道路、総合交通計画、道路整備計画、路線計画、ITS(高度道路交通システム)、環境、都市・地域計画、河川全般に関わる調査、計画、設計、運用管理、パブリックマネジメント、アドバイサリー業務 |
| 情報サービス事業 | | 情報処理に関わるコンサルティング、システム化計画、設計、ソフトウェア開発、情報コンテンツ開発・運営・配信サービス、各種公共施設のデータ管理等情報サービス全般 |

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。